

内閣府本府政策評価有識者懇談会（第51回）議事要旨

1. 日 時 令和6年6月17日（月）10:00～11:40

2. 場 所 中央合同庁舎第8号館5階共用B会議室

3. 出席者

（委員）

座長	白石 小百合	横浜市立大学国際商学部教授
	伊藤 正次	東京都立大学法学部、大学院法学政治学研究科教授
	荒見 玲子	名古屋大学大学院法学研究科教授
	佐藤 徹	高崎経済大学地域政策学部、大学院地域政策研究科教授
	横田 響子	株式会社コラボポ 代表取締役

（内閣府）

	岡本 直樹	内閣府大臣官房政策立案総括審議官
	盛谷 幸一郎	内閣府大臣官房政策評価広報課長
	入野 史也	内閣府大臣官房政策評価広報課課長補佐

4. 議題

令和5年度実施施策に係る政策評価書（障害者施策、青年国際交流、遺棄化学兵器廃棄処理、重要土地等調査、匿名・仮名加工医療情報）（案）について

5. 議事要旨

- 令和5年度実施施策に係る政策評価書に関し、各部局（政策統括官（共生・共助担当）、遺棄化学兵器処理担当室、政策統括官（重要土地担当）、健康・医療戦略推進事務局）からヒアリングを実施。委員からの主な意見やコメントは以下のとおり。

《障害者基本計画の策定・推進》

- 測定指標の達成状況について上昇率のペースが鈍いことの要因と改善策はどのようにお考えか。
- 測定指標を達成することは非常に重要であるけれども、結果として障害者施策が自治体においてもきちんと位置づけられていることが必要であるため、ぜひその部分を重視したような形で施策の運用を行っていただきたいと思う。

《青年国際交流の推進》

- 事業実施前段階で、一般層と事業参加者との行動傾向や性格特性について差異がある可能性があるが、その点は分析されているのか。
- 国際協調の精神とリーダーシップ力、マネジメント力の向上が長期的に持続していくかどうか重要であると思うので、長期的な状態を確認できる測定指標についても、可能であればご検討いただきたい。

《遺棄化学兵器の廃棄処理の実施》

- 今後新たに遺棄化学兵器が発見された場合に、目標は上振れするという見方をすれば良いのか。最近の動向を踏まえて、その可能性はあるのか。

《重要土地等の調査及び規制等の実施》

- 政策目的に照らすと、対象となる土地の取引について届出を行うことを遵守いただくことが重要であると思うが、未届出がないようにすることについて、何らかの指標を設定することは可能なのか。
- ホームページアクセス数では、国民が制度をどの程度理解しているのかまでは測定できないのではないのか。

《匿名加工医療情報及び仮名加工医療情報に関する施策の推進》

- 中目標 1 と中目標 4 について測定指標を設定していないのはなぜか。特に、中目標 1 に係るものについてはもう少し実効性のある指標を設定すべきでないか。
- 利活用された方に追跡調査等を行い、研究開発や新産業創出にどのように結びついたのか調査されることも、ぜひご検討いただきたい。

<文責：内閣府大臣官房政策評価広報課>